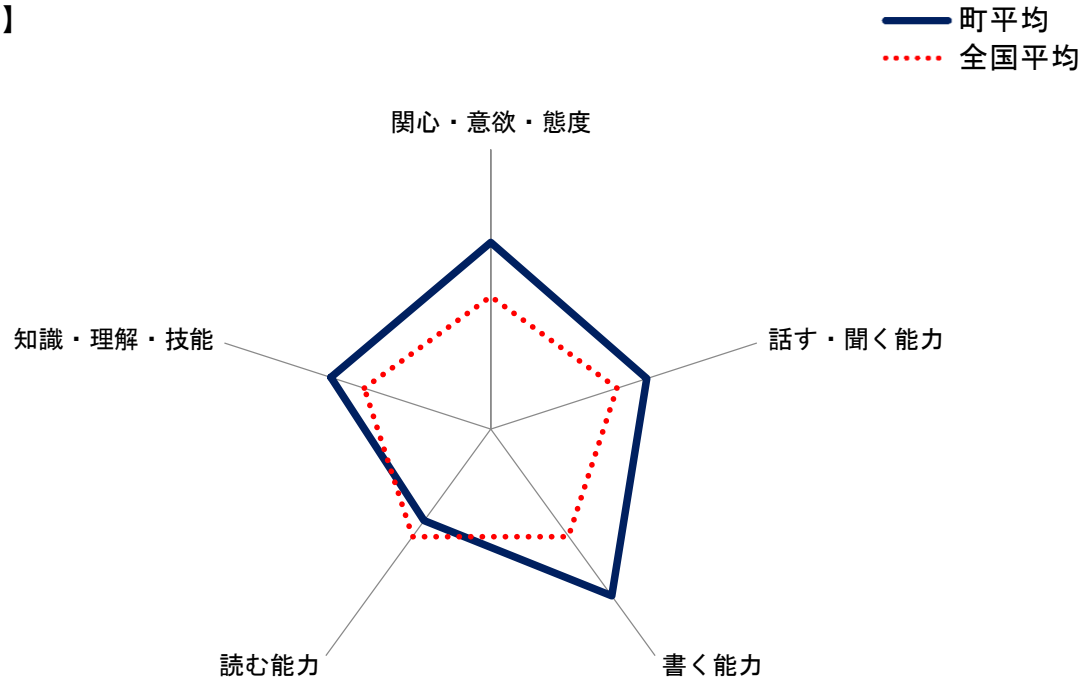
中学校

令和３年度　全国学力・学習状況調査
（各教科観点別等の状況）結果

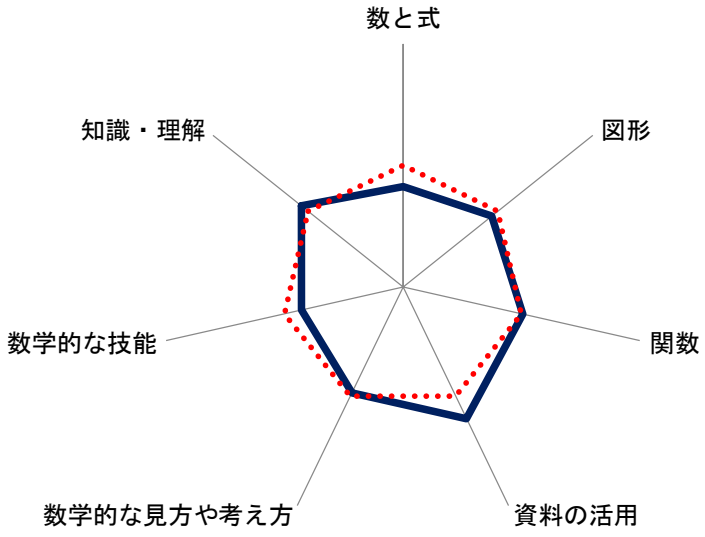
内子町

○　教科に関する調査（全国の平均正答率との差）

【国語】



【数学】

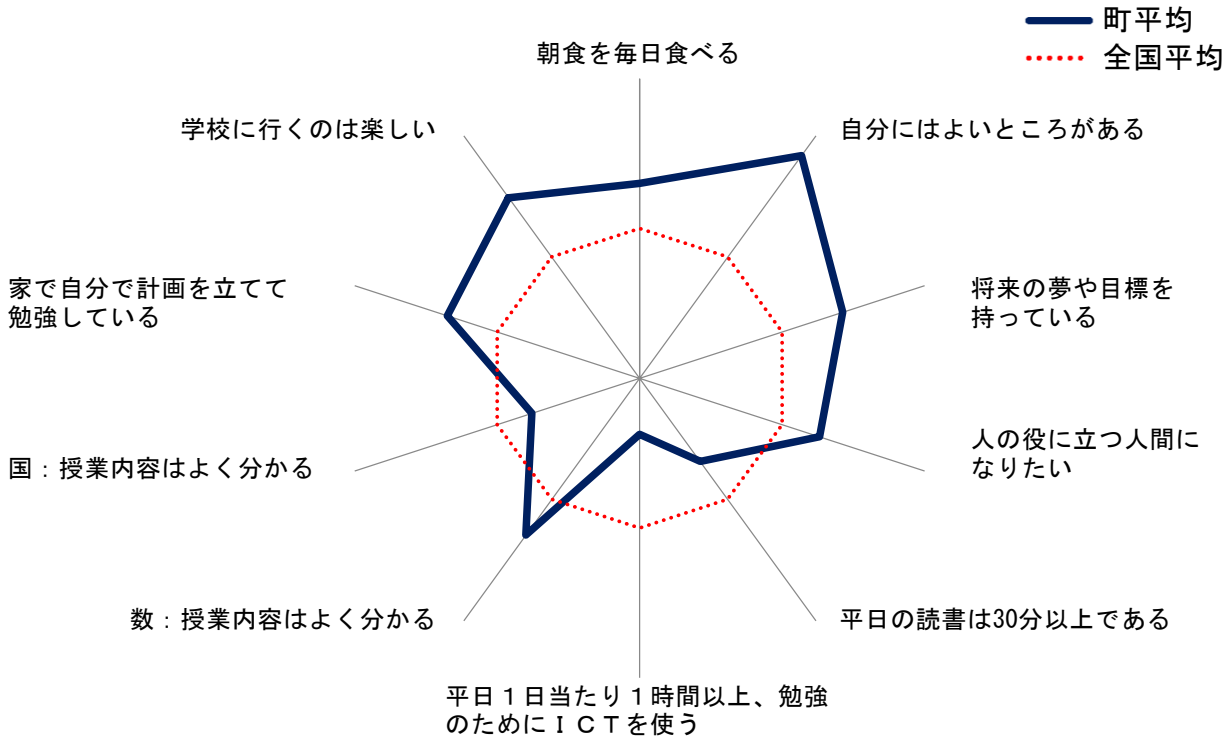


中学校

令和３年度　全国学力・学習状況調査
（学習や生活の状況）結果

内子町

○　生徒質問紙調査（全国の平均回答率との差：肯定的な回答）



○　結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「書く能力」の項目が全国平均を大きく上回っている。また、数学の「資料の活用」の項目も上回っており、良好な結果である。一方、国語の「読む能力」、数学の「数と式」「数学的な技能」などの項目が全国平均を下回っており、基礎的な知識及び技能の定着に課題が見られる。今後、各教科の設問ごとに詳細な分析を行い、課題を洗い出すことで、生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導に向けた授業改善に取り組むことが望まれる。

生徒質問紙調査では、特に「自分にはよいところがある」「学校に行くのは楽しい」「将来の夢や目標を持っている」の項目が全国平均を大きく上回っており、一人一人を大切にするとともに、自分の夢に向かって主体的に学習に取り組む生徒の育成に向けた教育活動の成果がうかがえる。一方、「平日１日当たり１時間以上、勉強のためにＩＣＴを使う」の項目は全国平均を大きく下回っている。今後、生徒にとって「楽しい授業、分かる授業」となるよう、積極的にＩＣＴを活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善をより一層推進することが望まれる。